

事務事業名		交通安全対策事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																											
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目																											
	施策名	23 交通安全対策の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計 款 項 目 事業																											
	基本事業名	01 交通安全意識の啓発		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		01 02 01 07 02																											
根拠法令		交通安全対策基本法		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		事務事業区分																											
所属	部課名	市民生活部市民環境課		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																											
	課長名	伊藤 真紀子		※全体計画欄の総投入量を記入																													
	係名	生活安全係	電話	27-3111																													
	担当者	千田 圭祐	内線	127																													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																													
<p>・交通指導員を設置し、広く市民に交通安全思想の普及、交通安全の保持のために必要な指導を行う。</p> <p>・大船渡市交通安全対策協議会を組織し、市内の交通安全確保と、交通流の円滑化に関し、関係機関、団体等と緊密な連携を図り総合的・効率的な対策を推進する。</p> <p>①大船渡市交通安全対策協議会の開催②交通安全教室・講習会等の開催③街頭指導④交通安全市民大会の開催⑤交通安全コンクールの実施⑥交通安全施設の整備⑦交通災害共済事務など</p> <p>事務事業費は、交通指導員への報酬費、被服費、市民大会開催費用、交通安全関係団体への補助金などに支出される。</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																															
		都道府県支出金																															
		地方債																															
		その他																															
	一般財源																																
	事業費計(A)	0																															
	人件費	正規職員従事人数																															
	延べ業務時間																																
	人件費計(B)	0																															
	トータルコスト(A)+(B)	0																															

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

・交通指導員による街頭指導、交通安全教室など  
・大船渡市交通安全対策協議会による交通安全思想の普及と、交通安全教育の充実・強化に資する各種事業の実施

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

事務事業の概要のとおり

② 対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等

市民、交通安全関係機関

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

交通ルールの遵守など、交通安全意識が高まる。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

・交通安全や交通事故に対する意識や備えがある。  
・交通ルールが守られる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 交通指導員延べ出勤回数	回
イ 交通安全座談会、研修会等開催延べ件数	件
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 市の人口	人
キ 交通指導員数	人
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 座談会、研修会等参加延べ人数	人
シ 街頭指導参加人数	人
ス 市内の交通事故件数	件

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	年度						
		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円	1,611	1,449	1,296	1,344	1,321	1,350
	地方債	千円						
	その他	千円	293	294	292	294	89	67
	一般財源	千円	6,251	7,836	6,738	8,126	8,208	7,704
	事業費計(A)	千円	8,155	9,579	8,326	9,764	9,618	9,121
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980
	人件費計(B)	千円	7,920	7,920	7,920	7,920	7,920	7,920
	トータルコスト(A)+(B)	千円	16,075	17,499	16,246	17,684	17,538	17,041
⑤活動指標	ア	回	6,941	7,428	7,553	7,371	7,323	7,112
	イ	件	40	47	47	55	44	31
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	38,167	37,633	36,933	36,234	35,471	34,796
	キ	人	42	43	40	41	42	42
	ク							
⑦成果指標	サ	人	3,152	2,984	2,613	2,651	2,516	2,299
	シ	人	962	1,152	1,062	1,117	1,223	1,012
	ス	件	805	781	690	705	630	530

事務事業ID	60	事務事業名	交通安全対策事業
--------	----	-------	----------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
交通事故による、人的、物的損害が多く、その減少を図るため。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
昭和40年～50年代は小学生の犠牲や若年ドライバーの暴走運転が原因の事故が多かったが、最近が高齢社会に伴い、高齢者の交通事故が増えており、スマートフォン等の普及により、ながら運転による事故も増加している。また、交通事故の未然防止、交通安全啓発のため交通指導員や交通安全関係者等による夜間街頭指導など各種街頭指導や交通安全教室などを他市よりも多く実施していたが、それら関係者の負担の軽減を図るため、平成20年度から交通安全活動の見直しを図った。震災により活動体制が整わない団体が一部見受けられたが、現在はほぼ全ての団体が震災以前の体制に戻っている。また、震災復興に係る新たなまちづくりによる車両の増加や道路設等により交通量、交通環境が変化している。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
交通安全活動は良いことである、どんどんやるべき、との声がある一方で、活動が活発すぎてついていけない、やりすぎであるとの意見もあり、平成20年度に街頭指導の回数等事業を大きく見直し、参加者の負担の軽減を図った。  
震災から10年が経過し、復興関連により増加していた交通量は以前よりは減少しているが、交通ルールを把握していない児童や、ながら運転などを行う悪質ドライバーも少なくないため、学校・地域公民館などから通学路等の安全確保が求められている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 交通安全意識を高めることは、交通ルールの遵守につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 交通安全対策基本法により、交通安全の確保は、国及び地方自治体の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 交通安全や交通事故に対する意識や備えをもち、交通ルールを守るべき対象は市民であり、その取り組みには、交通安全関係機関が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 交通事故件数は例年減少しているが、依然として市内で交通死亡事故が発生しているため、今後も一層の交通安全意識の高揚を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 交通マナーの悪化を招き、交通事故の増加につながる恐れがある。また、交通安全対策法で定められた市の責務を果たさないこととなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の主なもの、交通指導員への報酬であり、当市の交通指導員の報酬は県内他市の交通指導員と比べても出動1回あたりの単価は低い状態であり、格差を是正するため、平成30年度に報酬額を引き上げたことから、これ以上の削減は見込めない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人員で対応しており、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民全員が、交通安全活動の対象者であり公平である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	毎年度1件以上、交通死亡事故が発生しており、依然として油断のできない状況が続いているため、市民全体の交通安全意識が、より一層高揚するような働きかけが必要である。	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)															
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 交通安全モデル地区や関係機関等と連携し、交通安全運動期間を中心に様々な活動を展開し、市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故抑止に努める。 また、交通安全活動の活発化のため、関係団体への支援を継続的に行う。 今年度以降については、例年よりも交通安全教室を多数開催し、高齢者や児童に対し交通安全教育をする等、コストがかからない方法で交通安全意識の高揚を図る方法を検討する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上維持</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上維持		●		低下		×	×
成果	コスト																
	削減	維持	増加														
向上維持		●															
低下		×	×														

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 道路の新設や市街地の整備などにより交通環境が変化している。また高齢者が関係する事故が増加していることから、関係機関及び団体と引き続き連携・協力し、交通安全運動及び交通安全啓発の活動を継続して実施する必要がある。
---	--